

(書式3)

全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	数 学	教科主任	山下 昌孝
-----	-----	------	-------

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<p>・「生徒による授業評価アンケート」（7月実施）では、授業への取組、興味関心など、どの項目も数値は高いが、基礎的基本的な計算や単位の扱いなど十分ではない。授業時に習熟の程度にあわせた指導をする必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none">・これまでの基礎・基本の定着を目指した丁寧な授業に加え、グループ学習や発表に重点をおいた授業も実施する。・ICT機器を活用した授業も取り入れたい。	<ul style="list-style-type: none">・夏季補充教室や授業内の確認テストにおいて理解が不十分な生徒を把握して、演習の時間で個別指導を行う。・生徒の興味を引く発展的な学習内容を單元ごとに準備し、計画的に実施する。

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<p>・定期テストや東京都学力調査の結果から、基礎的な知識や技能の定着が不十分、また、得点分布に二極化の傾向が見られることが分かる。これらことから基礎・基本の定着に重点を置いた授業展開が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none">・習熟度に応じて基礎的な学習の定着を目指し、繰り返し練習する。また、家庭学習の定着を呼びかける。・興味を引く教具・教材の準備に力を入れる。これにより、生徒の意欲を高め、理解を深める。	<ul style="list-style-type: none">・少人数授業の特性を生かし、机間指導に力を入れる。その場で生徒の考えを深めるような助言を行う。・課題を消化した生徒には、プリントや板書などを使用し、発展的な内容に取り組みさせる。

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<p>・定期テストや全国学力調査の結果から、得点分布の二極化と、数学的な思考や考え方を問う問題の正答率が低い。このことから、基礎・基本の定着に重点をおきつつも、考え方を発見させ、使わせる授業展開が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none">・習熟度に応じて基礎的な学習の定着を目指し、繰り返し同じ学習を行う関係上、意図的にバリエーションを限定している場合がある。・それ以外に工夫できる点（グループ学習や体験学習等）は、教材に応じて授業に取り入れる。	<ul style="list-style-type: none">・小テストや課題を通して、理解が不十分な生徒を把握し、演習の中でアドバイスを多くしていく。・課題を消化してしまった生徒には、プリントや板書により発展的な内容に挑戦させ、時間を有効に活用するよう心がける。